【与那原町】

１人１台端末の利活用に係る計画

１．１人１台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

１人１台端末とクラウドツールの利用により、データ利活用による個別最適な学びと協働的な学びを充実するとともに教師の負担を軽減する。また、一斉授業か個別学習か、デジタルかアナログかといった「二項対立」に陥らないことに留意しつつ、教育DXを推進する。

２．GIGA第１期の総括

GIGA第１期には、町立学校教職員と児童生徒にアカウントの配付を行い、コロナ禍においても学校からの連絡や情報共有を問題なく行うことができた。今後はデータ利活用を進める予定である。

３．１人１台端末の利活用方策

端末利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向けの１人１台端末の環境を引き続き維持する。

校内研修の積極的な実施と活用により、ICT 研修を受講する教員の数を増やし、１人１台端末を文房具として毎日使う環境の構築を目指す。

また、授業において児童生徒が自ら調べ、考えをまとめて発表する場面を設定することや、教職員と児童生徒、児童生徒同士がチャット等でやり取りできる環境、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組める環境を整備する。

１人１台端末を活用した学びの保障については、端末を活用した教育相談や不登校児への支援、外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に取り組む。